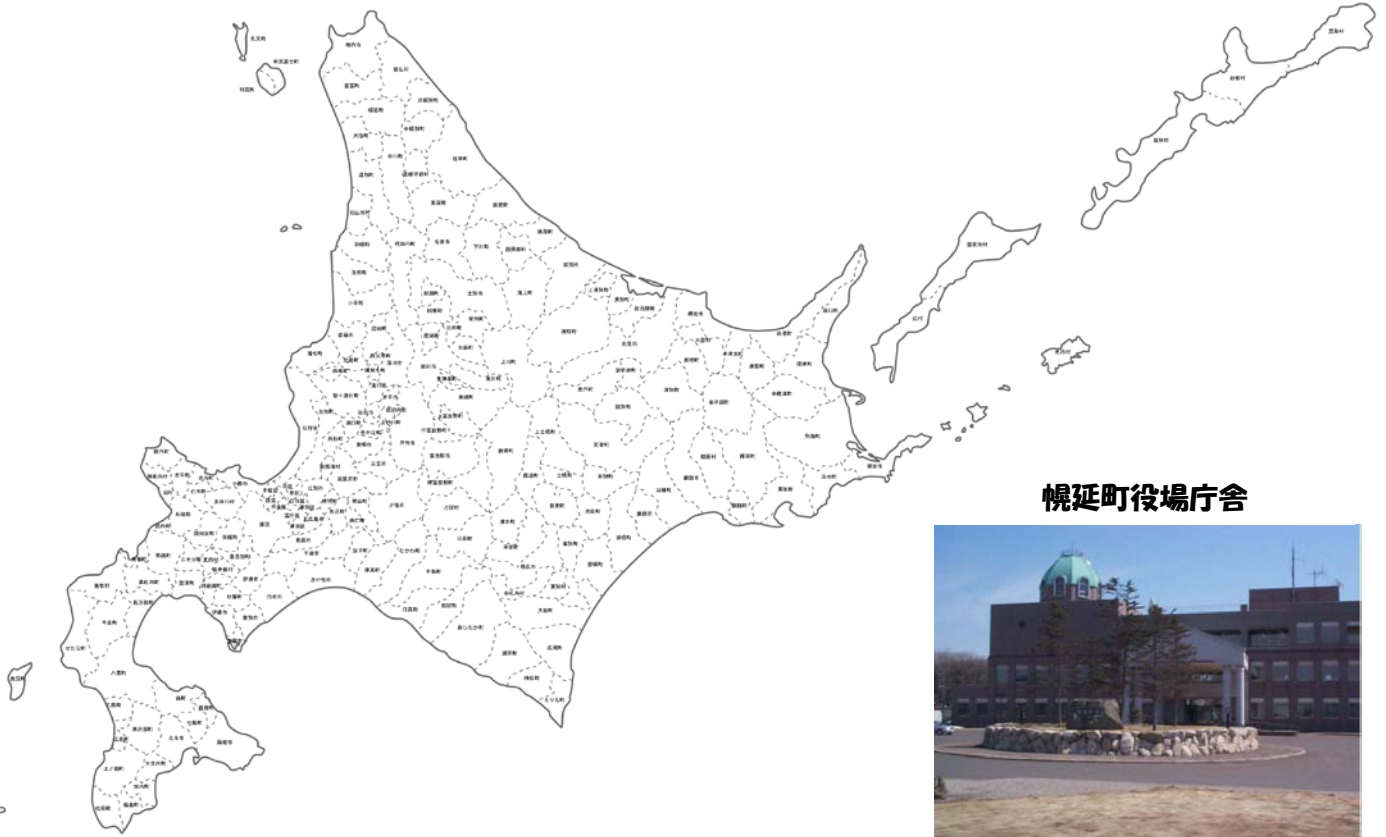


1. そもそも「幌延」って、どこ？



幌延町役場庁舎

2. そんな幌延には何があるの？

○幌延深地層研究センター

日本原子力研究開発機構が管理運営する、地下 350m 以上の深さへの放射性廃棄物の地層処分にに関する研究を行う施設。幌延深地層研究計画をめぐっては、道は「特定放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れ難い」との条例を 2000 年に制定しており、道および幌延町、日本原子力研究開発機構は「研究のみ」として「放射性廃棄物や放射性物質を持ち込まないし使用しない」「研究終了後は埋め戻す」とした協定を締結している。

3. ということで…

「原発」のしくみについておさらい

石炭や石油のように火を使うのではなく、ウランの核分裂でできた熱を利用します。

ウランの原子核が中中性子を吸収すると、原子核は分裂し、熱エネルギーが出ます。

火力発電との違いは、燃料にウランを使う点です。

① ウランの核分裂で熱水をつくります。

② 熱水の熱を伝え、高温の蒸気をつくります。

③ 蒸気のでタービン発電機を回し、電気をつくります。

この部分は、火力発電と同じです。

石炭や石油のように火を使うのではなく、ウランの核分裂でできた熱を利用します。

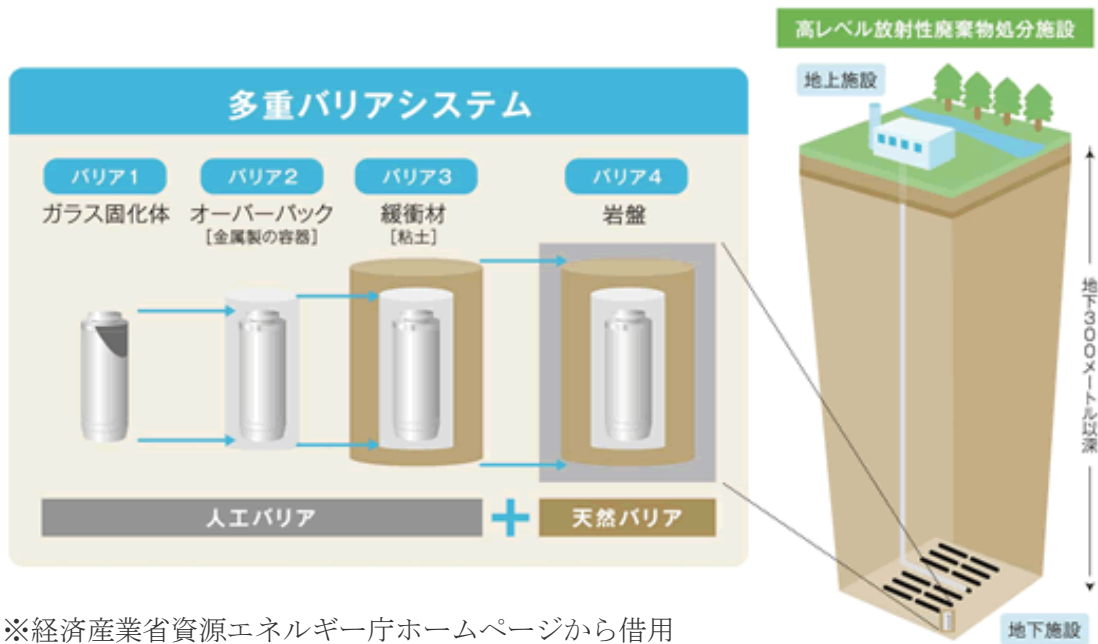
ウランの原子核が中中性子を吸収すると、原子核は分裂し、熱エネルギーが出ます。

※ほくでんホームページから借用

#### 4. 「地層処分」って、なんぞ？

地下深部の地層に高レベル放射性廃棄物を埋設し、人間の生活環境に影響を及ぼさないように長期にわたって安全・確実に隔離する方法。

※人工バリアだけで放射能を封じ込めることはできず、地層中に放射能が漏れ出てくることは前提とされている。



※経済産業省資源エネルギー庁ホームページから借用

#### 5. じゃあ、なにが問題なの？

- 経済産業省は、有識者を集めたワーキンググループにおいて、高レベル放射性廃棄物の最終処分場について政府主導で処分場の候補地を選定する方針を示した
- 文部科学省が幌延深地層研究センターと岐阜県瑞浪（みずなみ）市の瑞浪超深地層研究所のどちらかの施設を廃止する方針を示した
- 幌延において来年度から廃棄物に模した熱源を地下坑道に埋設するという実際の処分に近い研究が始まる
- 地元幌延町において交付金目当ての最終処分場誘致の動きが報道された  
→なし崩し的に幌延が処分地とされるかも…

#### 6. なぜ労働組合が反戦・反核・平和に取り組むのか？



集会・デモ行進の様子

